



*PTA かわら版は、市内小中学校の校長先生および PTA 会長様あてに発行しているものですが、職員や PTA 役員の皆様にもご回覧ください。

第 59 回 仙台市立学校

校長・PTA 会長教育研修会

7月4日に江陽グランドホテルで「第59回仙台市立学校、校長・PTA 会長教育研修会」が開催されました。

第一部の教育研修会では、NHK番組「ブラタモリ」のナビゲーターとして、仙台の街を紹介した木村浩二さんに「伊達政宗のまちづくり」についてご講演をいただきました。仙台には南北に抜ける長町一利府構造線という活断層があり、それを避けるように硬い岩盤の上に仙台のまちづくりが行われたということです。また、広瀬川が長い年月をかけて作った河岸段丘があり、その名残の段差が勾当台公園の階段や、藤崎デパートの青葉通り入口の階段などに見られるという具体的なお話に、皆うなずきながら聞き入っていました。地名についても、「東一番丁」「名掛丁」のように、「丁」の字がつく地名は武士が住んでいたところ、「新伝馬町」「国分町」などの「町」のつくところには町人が住んでいたところとしっかりと分けられていたということです。藩政時代は仙台の面積の8割が武士の屋敷となっていて、今の片平丁小学校はかつての武士の屋敷一軒分の敷地に建てられているというお話に、会場からどよめきが上がりました。仙台にまつわる興味深いお話に、仙台の街を見直す良いきっかけとなった講演会でした。



仙台の成り立ちを語る 木村浩二氏

第二部の懇談会では、郡 和子仙台市長、斎藤範夫市議会議長をご来賓にお招きし、仙台市内の小・



佐々木教育長 あいさつ



郡市長のご祝辞

中・高校の校長先生、PTA 会長、教育委員会の皆様など総勢 404 名の方々が一堂に会し、盛大に開催されました。市長からは、昨年度開催された「第 65 回日本 PTA 研究大会仙台大会」の実施で、全国に仙台市のすばらしさを発信できたとともに、仙台市の PTA の結束力がさらに強くなって、子どもたちを見守る輪がさらに大きくなったとご祝辞をいただきました。



市 P 協役員のハンドベル演奏

